

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん、こんにちは！伴野豊です。私自身は引き続き、知多半島を中心にコツコツ歩くことを基本に活動させて頂いております。先月末には、ある団体の政策研究会、地方議員団連絡会研修会、政治セミナーと、連続で講演し意見交換させて頂き、またご支援をいただいております団体のウォーキングにも参加いたしまして、大変有意義な月末でした。何れにしても、皆様方のご支援によって今日も活動できていることに心から感謝するウィークでもありました。

伴野豊の気になる国土交通政策

今回は観光政策について述べたいと思います。近年の我が国の観光政策は、一言でいえば、中国頼みであったことは否めません。近年のアジアの成長の象徴とも言うべき中国の成長を、日本の観光産業においていかに吸収するか、この視点は否定するものではありません。ビザ発行の緩和は時代の要請ともいえるべきものであり、負の影響の部分に対して日本国としてきちんと対応するのであれば、間違っただけではありません。しかし、昨今の振る舞い、対応方、商慣行、報道の自由と透明性など我が国とは随分違う国です。そうした国を拠り所にした政策、計画であったことが間違いで、残念ながら、数字的には絵に描いた餅、非常に他力本願の不安定な観光政策でありました。それ故、私が国土交通副大臣に就任した昨年十月、すぐに観光庁長官に指示したのが、大きく三つ。一つ目は、**中国に頼らない※インバウンド計画**。少し時間がかかっても良いので、根本的に親日的な、他のアジアの新興国にも間口を拡げたインバウンド計画にすること。二つ目は、**地域の独自性と主体性を重んじる、地域の力を最大限引き出し活用する計画とすること**。最後の三つ目は、**オールジャパン体制で計画立案し、その実行のスピードを上げよ**。この三つを指示しました。そうして、5月20日、観光立国の実現に向けた取り組みについて「中間とりまとめ」がまとめられました。今後、6月中に観光立国推進閣僚会議において「アクションプログラム」が取りまとめられる予定。私の指示が生きていることを期待しています。

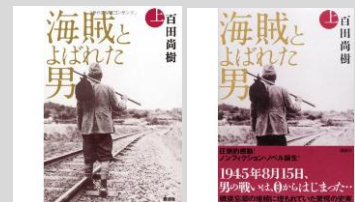
※インバウンド…観光政策についての場合、外国人旅行者を自国へ誘致することの意。

伴野豊の気になる本



今回の伴野豊の気になる本は、百田尚樹著「海賊と呼ばれた男」です。2013年本屋大賞。本屋さんに買われるのはあまり好きではありませんが、買ってしまいました。これは、やられました。涙腺が何度刺激されたか。涙腺だけでなく、魂も刺激されました。こういう人に出逢いたい、会ってみたい、話を聴きたい、一緒に仕事させて頂きたいと、久し振りに思いました。出光興産の創業者・出光佐三をモデルにしたドキュメント小説。人間尊重の信念を貫き通した五十年。

現実はこのようにカッコ良くなかったと思います。もっと、ドロドロしたカッコ悪いものであったと思います。しかし、今よりも何倍、何百倍、いや比較できないくらい大変な時代を、逃げずに前向きに、人を信頼し、人を思い、家族を思い、国を思って粉骨砕身した沢山の人、リーダーがいたことは間違いない。如何に生きるか、生きたいか。考えさせられる上下二冊。じっくり読んでみてください。(定価： 本体 1,600 円)



伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

